

講義コード	20DASa1103		
講義名	光赤外線天文学演習Ⅱ		
講義開講時期	通年(前期開始) Whole Year		
基準単位数	2		
代表曜日			
代表時限			
研究科等	物理科学研究科		
専攻・プログラム	天文科学専攻		
科目区分	光赤外線天文学		
授業を担当する教員	渡部潤一		
担当教員			
<table border="1"> <tr> <td>氏名</td> </tr> <tr> <td>渡部 潤一</td> </tr> </table>		氏名	渡部 潤一
氏名			
渡部 潤一			
授業の概要			
<p>太陽系・惑星科学についての基礎的な知識を教科書の輪講を通して習得すると同時に、関連分野の教員、PD、および大学院生等とともに学術論文の紹介や、自らの研究の紹介等を通じて、最新の研究の現状を知ることが目的としている。本演習は、光学赤外線天文学分野で毎週行われている論文報告会に参加し、所定の学修をした3年次、4年次、5年次院生に対して専攻専門科目（演習）として、その履修を認定するものである。</p>			
到達目標			
<p>最新の学術論文をサーベイし、自らがピックアップした論文を読み、自らの見解とともに紹介することで、参加者とともに科学的議論を行い、太陽系・惑星科学天文学分野における研究の動向を把握し、自らの研究の位置づけを明確に示すことができるようになることを到達目標とする。このような紹介を通じて最終的には自らの研究を広く分野が異なる研究者に理解してもらい、議論を行うことができる基礎を身につける。</p>			
成績評価基準			
<table border="1"> <tr> <td>02:P(合格),F(不合格)の2段階評価</td> </tr> </table>		02:P(合格),F(不合格)の2段階評価	
02:P(合格),F(不合格)の2段階評価			
成績評価方法			
<p>論文報告会において、月に一度以上論文紹介を担当し、概説論文、教科書の輪講を二ヶ月に一度、担当する。論文報告会には6割以上出席し、科学的質疑に参加する。成績は6割以上の出席したのに対し、自分の研究の進捗状況および先行研究の論文のまとめなどのレポートを提出し、P合格もしくはF不合格で判定することとし、これらをもって、合格の基準とする。</p>			
授業計画			
<p>本演習（太陽系小天体セミナー）は、4月第1週～7月、10月～3月の期間、毎週一回の頻度で1</p>			

時間～2時間開催する。2021年度は火曜日午前10時から12時を基本とする。演習の形式は論文輪講、教科書輪講、研究進捗報告、解析演習、研究発表練習などを交互に行い、必要に応じて昼食後に個別指導を行う時間を設ける。

実施場所

国立天文台（三鷹） 南棟2階会議室を基本とする。

使用言語

日本語を母語とする参加者のみの場合は日本語を基本とするが、参加者に日本語を解さない参加者がいる場合は英語とする。年に数回は英語での開催となる。

教科書・参考図書

参考図書：日本評論社 現代の天文学9 「太陽系と惑星」

A reference book: Nihon Hyoronsha Present-day astronomy No. 9 "the solar system and planets"